

第3学年 国語科学習計画（シラバス）

【第3学年 国語科の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができる。
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① よく聞いて、じこしょうかい ② どきん ③ 春風をたどって ④ 国語辞典を使おう ⑤ もっと知りたい、友だちのこと ⑥ こまを楽しむ ⑦ 気持ちをこめて「来てください」 ⑧ まいごのかぎ ⑨ 俳句を楽しもう ⑩ 仕事のくふう、見つけたよ ⑪ わたしと小鳥とすずと ⑫ こんな係がクラスにほしい ⑬ ポスターを読もう ⑭ ローマ字	① 友達を見て、話したり聞いたりするとともに、「すきなもの」を紹介し合う。 ② 詩の特徴や調子に気付きながら音読し、詩を楽しむ。 ③ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉え、読んで想像したことを伝え合う。 ④ 国語辞典の見方を理解し、言葉の意味を調べる。 ⑤ 友達の話を聞き、もっと知りたいことを考えて質問する。 ⑥ 段落や文章の組み立てについて知り、それぞれの段落の中心を捉えて読む。 ⑦ 相手に分かりやすく、必要なことが伝わるように、大事なことを考えて案内の手紙を書く。 ⑧ 場面の移り変わりと結び付けて登場人物の変化に気を付けて読み、感想を書いて友達と読み合う。 ⑨ 俳句を音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。 ⑩ 組み立てを考えて、調べたことを報告する文章を書く。 ⑪ 心に残った言葉や表現を見付けながら音読し、詩を味わう。 ⑫ 目的や進め方を確認して話し合い、友達の意見との共通点や相違点に気を付けて考えをまとめる。 ⑬ ポスターでは絵や写真からも情報を読み取れることを知り、いろいろなポスターを比べて読む。 ⑭ 身の回りにあるローマ字を見付けたり、簡単な語をローマ字で書いたりして、ローマ字表記を知る。
2学期	⑮ ちいちゃんのかげおくり ⑯ おすすめの一さつを決めよう ⑰ すかたをかえる大豆 食べ物のみみつ教えます ⑱ ことわざ・故事成語 ⑲ 短歌を楽しもう ⑳ 三年とうげ ㉑ わたしの町のよいところ ㉒ ありの行列 ㉓ つたわる言葉で表そう ㉔ お気に入りの場所、教えます ㉕ モチモチの木	⑮ 場面の様子や出来事を比べながら読み、感じたことを文章にまとめる。 ⑯ 目的と進め方を確かめ、司会などの役割を決めて、班で話し合う。 ⑰ 筆者の説明の仕方の工夫に気付き、「例」の書かれ方に気を付けて説明文を読む。それを活かして「例」を挙げて説明する文章を書く。 ⑱ 長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、調べた言葉をまとめる。 ⑲ 短歌を音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。 ⑳ 話の組み立てに着目して読み、民話や昔話についておもしろさが伝わるように紹介し合う。 ㉑ 町のよさを紹介する文章を書き、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 ㉒ 文章を読んで理解したことを基に感想をもち、友達と伝え合う。 ㉓ 語句を選んだり、題名を工夫したりして、相手に伝わる文章を書く。 ㉔ 理由を明確にして、お気に入りの作品を紹介する文章を書き、友達と感想を伝え合う。 ㉕ 性格や気持ちを表す言葉に気を付けて読み、登場人物について考えたことを友達と伝え合い、考えを深める。

身に付けさせたい力

評価の観点	国語科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示語や接続語などを理解できる。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。 ・必要な知識や情報を得ることに役立て、幅広く読書に親しむことができる。 ・辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。	・ワークテスト ・学習カード ・ノート
思考・判断・表現	・理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるように文章の構成を考えている。 ・経験したことから書くことを選び、相手や目的を意識して書いている。 ・中心となる語や文を見付けて要約しながら読んでいる。 ・必要なことを記録したり、質問したりしながら聞いている。	・ワークシート ・ノート
主体的に学習に取り組む態度	・相手を見て話したり聞いたりして、積極的に互いの考えを伝え合っている。 ・丁寧な言葉を使い、相手意識をもって分かりやすい伝え方を工夫している。 ・書き表し方を工夫して、粘り強く文章を書いている。 ・登場人物の気持ちの変化について想像し、考えたことを進んで文章にまとめている。	・観察 ・ワークシート

家庭へのおお願い

○読書は、子供の心を豊かにします。ご家庭でも読み聞かせや読書をする時間を、意識的につくるようにしてください。

○漢字は、取り組んだだけの成果が分かりやすく、子供にとっては学習の達成感を味わいやすいものです。毎日の漢字の宿題は、時間を決めて、丁寧に取り組むように習慣付けてください。

第3学年 社会科学学習計画（シラバス）

【第3学年 社会科の目標】

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現している。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員として自覚している。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 学校のまわり	① 学校の周りの様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに注目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりする。 白地図などにまとめることで学校のまわりの様子を捉え、場所による違いを考え、身近な地域の様子を理解する。
	② 北区のようす	② 北区の様子について、東京都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり、地図などの資料で調べたりする。 区の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの区の様子を大まかに理解する。
	③ わたしたちのくらしとお店の仕事	③ 地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して見学調査したり、地図などの資料で調べたりして、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉える。 それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解する。
2 学期	④ わたしたちのくらしとものをつくる仕事	④ 地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学調査したり地図などの資料で調べたりする。 生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解する。
	⑤ くらしを守る	⑤ 火災から地域の人々の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して見学・調査したり地図などの資料で調べたりする。 関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、消防署などの関係機関は、地域の安全をまもるために相互に関連して緊急時に対処する体制をとっていることや、関連機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解する。
	⑥ 北区のうつりかわり	⑥ 北区の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、区や人々の生活の様子を捉える。 それらの変化を考え、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解する。

身に付けさせたい力

評価の観点	社会科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・身近な地域や自分たちの市区町村の位置、地形や土地利用、交通の広がり、市役所などの主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などを基に、身近な地域や市区町村の様子を大まかに理解できる。 ・消防署や警察署などの関係機関の働きや、地域に見られる生産や販売の仕事の様子などを理解できる。 ・地域の人々の生活との関連を考えることを通して、地域における社会生活について理解できる。 ・調査活動や資料を通して、必要な情報を集め、読み取り、白地図や年表などにまとめる技能を身に付ける。	・復習プリント ・調べ学習 ・ワークテスト
思考・判断・表現	・身近な地域や区の場所による違い、生産の仕事と地域の人々の生活の関連や販売の仕事に見られる工夫、人々の安全を守る関係機関の相互の関連やそこに従事する人々の働き、区や人々の生活の様子の変化などを考えている。 ・安全に関して、地域や生活における課題を見だし、それらの解決のために自分たちにできることを選択・判断したり、これからの区の発展について考えている。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味について考えたことや、社会への関わり方について選択・判断したことを文章で記述したり、資料などを用いて説明したり話し合ったりしている。	・ワークシート ・ノート ・ワークテスト
主体的に学習に取り組む態度	・学習問題を追究・解決するために、社会的事象について意欲的に調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現したりとしようとしている。 ・学習成果を基に、生活の在り方やこれからの地域社会の発展について考えようとしている。 ・自分たちの生活している地域社会としての市区町村に対する誇りと愛情をもとうとしている。 ・自分も地域社会の一員であるという自覚や、これからの地域の発展を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識などをもとうとしている。	・発言 ・ノート ・ワークシート

家庭へのお願い

○「北区」について、様々な視点から調べ、学んでいきます。教室で調べた内容を、実際に外出した際などに、身の周りに目を向けて、気付いたり確かめられたりすると理解が一層深まります。お出かけの際などに、話題に出してみてください。

第3学年 算数科学習計画（シラバス）

【第3学年 算数科の目標】

- (1) 数や整数の計算の意味について理解を深める。小数と分数の意味と表し方を知る。図形や量、棒グラフについて理解できる。また、身の回りにある長さや重さを測定できる。
- (2) 数の表し方や計算の仕方、平面図形の形の構成、身の回りにあるものを量として捉え、単位を用いて表そうとしている。身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、表したり判断したりしている。
- (3) 数を用いて考えることのよさに気づき、生活に生かそうとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 九九を見なおそう ② 時こくと時間のもとめ方を考えよう ③ 同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう ④ 大きい数の筆算を考えよう ⑤ 長い長さをはかって表そう ⑥ わかりやすく整理して表そう ⑦ 数をよく見て暗算で計算しよう ⑧ わり算を考えよう ⑨ 10000 より大きい数を調べよう ⑩ 大きい数のかけ算のしかたを考えよう ⑪ わり算や分数を考えよう	① かけ算の性質やきまりに着目して、答えの求め方を考える。 図や式、言葉を関連付けて捉え、それぞれのよさについて話し合う。 ② 時間の単位に着目して、時刻や時間の求め方を考える。 ③ 同じ数ずつ分ける場面に着目して、わり算の式に表す。 かけ算とわり算の関係に着目して、答えの求め方を考える。 ④ 3～4位数の、数の構成に着目して、筆算の仕方を考える。 ⑤ ものの長さに着目して、適切な計器を用いて測定したり、適切な単位を使って表したりする。 ⑥ データ整理の観点に着目して、表やグラフに表したり読み取ったりする。 表やグラフから読み取ったことから、事象の特徴を考える。 ⑦ 数の構成に着目して、2 位数同士の暗算の仕方を考える。 ⑧ 既習のわり算やわり切れない場合のわり算と余りの関係に着目して、計算の仕方を考える。 ⑨ 万の単位や1 億までの整数の数の構成や仕組みに着目して、数の読み方や表し方を考える。 ⑩ 2位数や3位数に1 位数をかけるかけ算のきまりに着目して、計算の仕方を考える。 図や式、言葉を関連付けて捉え、それぞれのよさについて話し合う。 ⑪ 数の構成に着目して、2 位数÷1 位数の計算の方法を考える。 分数の意味に着目して、分数とわり算の関係を考える。
2 学期	⑫ まるい形を調べよう ⑬ 数の表し方やしくみを調べよう ⑭ 重さをはかって表そう ⑮ 分数を使った大きさの表し方を調べよう ⑯ □を使って場面を式に表そう ⑰ かけ算の筆算を考えよう ⑱ 三角形を調べよう ㉑ そろばん	⑫ 円や球を構成する要素に着目して、特徴や作図の方法を考える。 ⑬ 小数の意味や表し方について理解し、0.1 の何こ分かに着目して、計算の仕方を考える。 ⑭ 重さについて、単位量の何こ分かに着目して考え、長さや体積と統合的に考える。 重さの見当をつける。 ⑮ 分数の意味に着目して、分数を用いた大きさの表し方を考える。 基にする大きさに着目して、分数の仕組みを考える。 ⑯ 数量の関係や場面に着目して、□を使った式に表す。 ⑰ かけ算のきまりに着目して、2～3 位数に2 位数をかけるかけ算の仕方を考える。 ⑱ 二等辺三角形や正三角形の構成要素に着目して、図形の特徴を考える。 ㉑ そろばんの仕組みや十進位取り記数法に着目して、たし算やひき算の計算方法を考える。

身に付けさせたい力

評価の観点	算数科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・整数の計算や小数、分数の意味と表し方を知ることができる。 ・基本的な図形や、量の概念を理解できる。 ・整数の計算ができる。 ・長さや重さを測定し、表やグラフに表すことができる。	・観察 ・ワークテスト
思考・判断・表現	・数の表し方や計算の仕方を考えている。 ・平面図形がどのような要素で構成されているか考え、身の回りの事象に応用している。 ・身の回りのものを量に注目して捉え、単位を用いて表現している。 ・データに注目して、身の回りの事象を簡潔に表現したり判断したりしている。	・観察 ・発言 ・ノート ・テスト
主体的に学習に取り組む態度	・数や図形にすすんで関わろうとしている。 ・算数で学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	・観察

家庭へのおお願い

- 毎日の計算ドリルの宿題を確認してください。間違いをその場で把握し直すことにより理解につながります。また、分からない問題を教科書など活用しながら取り組むことにより定着につながります。繰り返し学習することによって既習事項の定着につながります。
- 定規やコンパスなど算数科で活用する学習用具の適切な使い方をよく理解するように練習してください。繰り返し使うことにより、それぞれの用具の自分に合った使い方を見付けることができます。
- 学習内容を活用する機会を作ってください。身の回りには算数で学習した内容をいかすことができる機会がたくさんあります。それらを示し、既習事項を活用しながら考える楽しさや喜びを感じさせ、習慣を付けていくと定着につながります。

第3学年 理科学習計画（シラバス）

- [第3学年 理科の目標]
- (1) 自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路、身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

(2) 差異点や共通点を基に問題を見いだす力を付ける。

(3) 生物を愛護する態度や、主体的に問題解決しようとする態度を身に付ける。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 春の生き物 ② たねまき ③ チョウのかんさつ ④ どのくらい育ったかな ⑤ 風やゴムのはたらき ⑥ はながさいたよ、実ができたよ ⑦ こん虫のかんさつ	① 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解する。 ② 植物の育ち方には一定の順序があることを理解する。 ③ 昆虫の育ち方には一定の順序があり、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解する。 ④ 植物の育ち方には一定の順序があることを理解する。また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解する。 ⑤ 風やゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解する。 ⑥ 植物の育ち方には一定の順序があることを理解する。 ⑦ 生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解する。
2学期	⑧ 太陽とかげ ⑨ 太陽の光 ⑩ 音のせいしつ ⑪ 電気の通り道 ⑫ じしゃくのせいしつ ⑬ ものの重さ ⑭ つくってあそぼう	⑧ 日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解する。 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解する。 ⑨ 日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解する。 物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解する。 ⑩ 物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていることを理解する。また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解する。 ⑪ 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解する。 電気を通す物と通さない物があることを理解する。 ⑫ 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解する。また、磁石に近づけると磁石になる物があることを理解する。 磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解する。 ⑬ 物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解する。 物は、体積が同じでも重さは違いがあることを理解する。 ⑭ ものづくりを通して、技能を身に付けるとともに、目的の物を完成させるための方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする。

身に付けさせたい力

評価の観点	理科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・観察や実験を通して、様々な事象について理解することができる。 ・実験や観察の仕方を知り、正しく行うことができる。	・ワークテスト ・ノート ・観察 ・ワークシート
思考・判断・表現	・同じところや違うところを見付けようとしている。 ・どうしてそうなるのか考えようとしている。 ・根拠をもって自分の考えを説明しようとしている。	
主体的に学習に取り組む態度	・具体的な事象の問題について、具体的な予想を立てながら観察、実験に臨んでいる。 ・具体的な事象の問題について、調べる方法を今までの学習や生活経験から考えている。	

家庭へのお願い

○理科は、身近な自然や生活経験から疑問をもち、どうなるのか予想しながら観察や実験をすることが大切です。

○らだんの生活から、「何でだろう。」「不思議だな。」と感じたことを一緒に考えてください。

第3学年 音楽科学習計画（シラバス）

【第3学年 音楽科の目標】

- （１）曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。
- （２）音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
- （３）すすんで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① につぼんのうたみんなのうた ② 楽ふとドレミ ③ こんにちは リコーダー ④ ひびきのある歌声 ⑤ 音のスケッチ ⑥ せんりつと音色	① 歌詞の内容から様子を思い浮かべ、旋律の流れや曲想を生かして歌い方を工夫する。 ② 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見て歌ったり、音階が生み出すよさや面白さを感じとる。 ③ リコーダーの吹き方を知り、姿勢やタンギング、息の強さに気を付けて吹く。 ④ 発声の仕方に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌う。旋律の特徴について考え、生かして表現する。 ⑤ 様々な声の出し方を試し、声の高さ、長さ、音色などを聴き取り、声の出し方を工夫して音楽をつくる。 ⑥ 楽器の音色、旋律の反復や変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。
2 学期	⑥ 曲に合った歌い方 ⑦ 日本と世界の音楽 ⑧ につぼんのうた みんなのうた ⑨ 音のスケッチ ⑩ パートの役わり ⑪ 音楽のききどころ ⑫ 思いに合った表げん	⑥ 曲想を感じ取り、旋律の特徴や歌詞の表す情景を思い浮かべて歌い、合唱奏する。 ⑦ 日本や世界の歌を聴いたり、それぞれの曲の共通点や違いを感じ取る。 ⑧ 旋律の特徴に気付き、声の出し方を工夫して演奏する。 ⑨ 言葉の響きや反復の面白さを感じながら輪唱したり、音の動かし方を生かしたりして旋律をつくる。 ⑩ 主旋律と副旋律のパートを楽器で演奏し、パートの役割に気を付けて合奏する。 ⑪ 音色、旋律、反復などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。 ⑫ 旋律やリズム、音の重なりなどが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。

身に付けさせたい力

評価の観点	音楽科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりに気付き、自然で無理のない声で歌ったり友達とリズムをつなげて演奏したりすることができる。 ・リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付けることができる。 ・楽器の組み合わせや音の重ね方を生かして音楽をつくったり、即興的に音を選んで旋律をつくったりすることができる。	・発言 ・行動観察 ・ワークシート ・演奏聴取
思考・判断・表現	・歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や手拍子のリズムの選び方を工夫し、表現している。 ・音の重ね方や反復など音楽の仕組みを用いた音楽のつくり方について、思いや意図をもっている。 ・旋律の重なりや特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫し、表現している。	・発言 ・行動観察 ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	・友達と声を合わせて歌ったり、手拍子のリズムにつなげたりする学習にすすんで取り組み、友達と協働して音楽活動する楽しさを味わっている。 ・互いの演奏に興味・関心もち、互いの音を聴き合いながら演奏する学習にすすんで取り組む。 ・楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくる学習にすすんで取り組んでいる。	・発言 ・行動観察 ・ワークシート

家庭へのおお願い

○鍵盤ハーモニカやリコーダーを吹いた際の水滴を拭くために、タオルを袋に入れて持参させてください。使用した後は、適宜持ち帰りますので、洗濯して清潔な物を持たせてください。
○状況に応じて、学習した鍵盤ハーモニカやリコーダーの曲をご家庭で練習してください。その際、お子さんの演奏を聴いていただけると励みになるとと思いますので、ご協力をお願いします。
○日常の生活において、流れている音楽にお子さんと一緒に関心を広げてみてください。

第3学年 図画工作科学習計画（シラバス）

【第3学年 図画工作科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。
- (2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。
- (3) すすんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

1 年間の学習内容

学期	学習する題材名	主な学習内容
1 学期	① ヘんしん紙テープ ② 光と色のファンタジー ③ 「絵のぐ+水+ふで=いいかんじ！」 ④ ふき上がる 風にのせて ⑤ 空きようきのへんしん ⑥ のこぎりランド ⑦ くぎうちトントン ⑧ ひらいて広がるふしぎなせかい	① ステープラーの使い方を学習し、色紙のテープの使い方を工夫して飾りをつくる。 ② 光を透過させることで微妙に変化する美しさを感じながら、光と影の美しさを生かした飾りのつくり方を工夫する。 ③ 水彩絵の具で思いのままにかきながら自分の色や形を見付け、いろいろ試して色や形の感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。 ④ 材料を風に乗せてできる動きから、想像を膨らませて、吹き上がる風の力で、浮かんだり動いたりするものをつくる。 ⑤ 自分の発想や考えを基に、身の回りのものを組み合わせながら、生活を豊かに楽しくするものをつくる。 ⑥ のこぎりで角材を切り、形を組み合わせで思い付いたものをつくって楽しむ。のこぎりの使い方を学び、たる木や小割などを様々な形に切る。切った木切れを組み合わせでできた形から発想を広げ、組み立てて接着する。 ⑦ 金づちで釘を打つ感触を味わい、様々な打ち方を試しながら釘を打ってできる形を見付け、形などの感じを捉えながら、工夫して表す。 ⑧ 形や色を工夫しながら想像した世界を表すことで、想像する楽しさを味わう。
2 学期	⑨ 全校写生会 ⑩ にじんで広がる色の世界 ⑪ 新聞紙であそぼう ⑫ カラフルフレンド すてきマイキャラクター ⑬ マイ・キャラクター旅に出る ⑭ ようこそ、キラキラのせかいへ ⑮ くるっと回って、ごきげんいかが	⑨ 身近にある自然の色に目を向けたり、色の感じの違いの面白さなどを感じ取ったりしたことを工夫して表す。 ⑩ クレヨンで枠をかき、その枠の中に水で多めに溶いた絵の具をたらしてにじみをつくる。クレヨンが水をはじく性質を基に、枠の形とその中にできたにじみの表現を生かし、自分の想像した世界を表す。 ⑪ 新聞紙を使って体全体で楽しみながら表現する。 ⑫ 材料の組合せや扱いを工夫して、自分がよいと思えるような新しいものをつくることを楽しむ。 ⑬ 自分でつくったキャラクターと自分が仲良く旅をする様子を想像して、今までの学習を生かして工夫して絵に表す。 ⑭ 光を反射する材料の美しさから発想を広げ、貼り絵にする。集めた材料の美しさや形からイメージを広げ、工夫して表現する。 ⑮ 回る仕組みから表したいことを見付け、形や色などの感じを捉えながら、前学年までの経験を生かして表し方を工夫し、楽しく表す。

身に付けさせたい力

評価の観点	図画工作科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 ・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
思考・判断・表現	・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途等を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
主体的に学習に取り組む態度	・すすんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価

家庭へのお願い

○必要な材料を準備するときには、ぜひお子さんと一緒に楽しみながら探してください。子供にとって大人と一緒に材料探しは楽しいだけでなく勉強になります。また、自分で探すことで、この材料でこんな物を作りたいと発想を広げることができます。

○持ち帰った作品については、人と比べることはせず、どのような想いで作ったのかを聞いてみてください。また、自分で作った作品を丁寧に扱ってもらえないのは悲しいものですので、作品は大切に扱ってください。

○道具を最後まで大切に使うことや安全に気を付けて使うことを、ご家庭でも伝えてください。

第3学年 保健体育科学習計画（シラバス）

【第3学年 保健体育科の目標】

- (1) 運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方や、体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付ける。
- (2) 「自分の運動」や「身近な生活における健康」の課題を見付け、その課題の解決方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) ①決まりを守り、誰とでも仲良くすすんで運動しようとしている。②友達の考えを認めようとしている。③場や安全に気を付けて運動しようとしている。④最後まで努力して運動しようとしている。⑤健康の大切さに気付き自分の健康の保持推進にすすんで取り組もうとしている。以上5点の態度を養うことができる。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・体づくりの運動 ② 走・跳の運動 ・かけっこ、リレー ③ 投の運動 ④ 器械運動 ・鉄棒運動 ⑤ 水泳運動 ⑥ 表現運動 ⑦ 保健 ・健康な生活	① 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、友達と関わったりする。多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる運動、体を移動する運動、用具を操作する運動、力試しの運動、基本的な運動を組み合わせる運動をする。 ② かけっこ、リレーでは、その行い方を知るとともに、距離を決めて調子よく最後まで走ったり、走りながらバトンの受渡しをする周回リレーをしたりする。 ③ 遠くにカー杯、物を投げる。 ④ 鉄棒運動では、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した支持系の基本的な技をする。また、基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりする。基本的な技とは、前回り下り、かかえ込み前回り、転向前下り、膝掛け振り上がり、前方片膝掛け回転、補助逆上がり、かかえ込み後ろ回り、後方片膝掛け回転、両膝掛け倒立下りである。 ⑤ 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎ（呼吸しながらのばた足泳ぎやかえる足泳ぎなどの近代泳法の前段階となる泳ぎ・近代泳法の手や足の動かし方にこだわらない泳法）をする。 もぐる浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をする。 ⑥ 表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊る。 ⑦ 健康な生活について理解する。 (ア) 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることを知る。 (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であることを知る。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であることを知る。
2 学期	⑧ ゲーム ・ベースボール型ゲーム ⑨ 走・跳の運動 ・高跳び ⑩ 表現運動 リズムダンス ⑪ 走・跳の運動 ・幅跳び ⑫ 走・跳の運動 ・小型ハードル走 ⑬ 器械運動 ・マット運動 ⑭ ゲーム ・ネット型ゲーム ⑮ 器械運動 ・跳び箱運動 ⑯ ゲーム ・ゴール型	⑧ 蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをする。 ⑨ 高跳びでは、その行い方を知るとともに、短い助走から強く踏み切って高く跳ぶ。 ⑩ リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊る。 ⑪ 幅跳びでは、その行い方を知るとともに、短い助走から強く踏み切って遠くへ跳ぶ。 ⑫ 小型ハードル走では、その行い方を知るとともに、小型ハードルを自己に合ったリズムで走り越える。 ⑬ マット運動では、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技をする。また、基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりする。基本的な技とは、前転、易しい場での開脚前転、後転、開脚後転、補助倒立ブリッジ、側方倒立回転、首はね起き、壁倒立、頭倒立である。 ⑭ ネット型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをする。 ⑮ 跳び箱運動では、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した切り返し系（開脚跳びなど）や回転系（台上前転など）の基本的な技をする。また、基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組む。基本的な技とは、開脚跳び、台上前転、首はね跳びである。 ⑯ ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをする。

身に付けさせたい力

評価の観点	体育科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・運動の行い方を知り、基本的な技能を身に付けることができる。 ・健康的な生活について理解することができる。	・観察 ・学習カード ・学習プリントや単元のテスト（保健領域）
思考・判断・表現	・自分の運動の課題を見付けようとしている。 ・課題解決のために活動を工夫している。 ・自分が考えたことを仲間や全体へ伝えようとしている。 ・健康的な生活についての課題を見付け、その解決方法を考えようとしている。	・学習カード ・仲間への声がけ ・観察
主体的に学習に取り組む態度	・決まりを守り、誰とでも仲良くすすんで運動している。 ・友達の考えを認めている。 ・場や安全に気を付けて運動している。 ・最後まで努力して運動している。 ・健康の大切さに気付き自分の健康の保持推進にすすんで取り組んでいる。	・観察 ・発言 ・観察

家庭へのお願い

- 毎日、体の柔軟のためのストレッチを行うようにしてください。
- 1 日 30 分以上は、体を動かす時間をつくってください。
- なわとびや鉄棒は、年間を通してご家庭でも取り組んでください。

第3学年 総合的な学習の時間 学習計画（シラバス）

【第3学年 総合的な学習の時間科の目標】

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。
- (1) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解することができる。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめたり・表現したりしている。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① パソコンで学習のまとめをしよう	① 学習用パソコンを使って、文章・写真・図などを入れて学習のまとめをする。
	② パラスポーツについて調べよう	② パラスポーツについて、種類や方法などを調べ、簡単に体験することを通してよさを伝え合う。
	③ みんながすごしやすくするには（障害者体験）	③ 障害者体験を通して、みんなが過ごしやすくなるために、自分たちができることを調べまとめる。
2 学期	④ 十条商店街の素敵を伝えよう	④ 社会科「わたしたちのくらしとお店の仕事」で学習した内容に関連させ、十条商店街の歴史や販売の工夫などについて、調べまとめる。
	⑤ ロボットを動かそう	⑤ プログラミングを行う。
	⑥ 安全マップを作ろう	⑥ 自分たちの学区域を見直し、安全について考えるとともに、自分や周りの人の安全を守るために、できることを工夫して考え行う。

身に付けさせたい力

評価の観点	総合的な学習の時間で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・地域のよさや地域に住む人々の思いを理解できる。 ・地域に昔からあるものを大切に扱ったり、地域の人に挨拶したりするなど適切に接することができる。 ・地域を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、地域のよさや人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であると気付くことができる。	・ワークシート ・発言 ・活動
思考・判断・表現	・身近な環境に関する課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法明確にしながらフィールドワークの計画を立てようとしている。 ・人に聞いたり、図書館やICT を活用して調べたりして、必要な情報を集めようとしている。 ・集めた情報を比較し、観点ごとに分類し、表などを用いて整理しようとしている。 ・他教科で培った表現力を生かし、相手に伝わるようにまとめようとしている。	・ワークシート ・発言 ・活動
主体的に学習に取り組む態度	・身近な人と力を合わせて課題を解決しようとしている。 ・課題解決の中で、自分の考えと異なる意見や考えがあることを知ろうとしている。 ・地域との関わりの中で、自分にできそうなことを見付けようとしている。	・ワークシート ・発言 ・活動

家庭へのお願い

○子供たちが自身で課題を見付けたり、自分で問題解決していこうと方法を考えたり、体験することを大切にしたりする学習です。指示されたことを行うのではなく、小さなことでも自分で判断させたり、決断させたりすることを、日頃の生活の中でも多く経験させてください。その中で、自分で考えることへの自信を育みたいと思います。

第3学年 道徳科学習計画（シラバス）

【第3学年 道徳科の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① あいさつをすると ② 又チ又チスージ ③ ふっかちゃんの町じまん ④ ツバメの赤ちゃん ⑤ ゆうすけの朝 ⑥ ぬれた本ーリンカーン ⑦ みんなの学校なのに ⑧ いいち、にいい、いいち、にいい ⑨ SL 公園で ⑩ ーさつのおくりもの ⑪ 作品のかち ⑫ ごみステーション ⑬ いただいたいのち ⑭ こうすけならだいじょうぶ ⑮ きまりじゃないか ⑯ ホタルの引っこし ⑰ みさきさんのえがお	① 礼儀について考える。 ② 生命の尊さについて考える。 ③ 国や町のよさについて考える ④ 自然愛護について考える。 ⑤ 節度ある生活について考える。 ⑥ 正直・誠実について考える。 ⑦ 勤労・公共の精神について考える。 ⑧ 友情・信頼について考える。 ⑨ 善悪の判断について考える ⑩ 親切、思いやりについて考える。 ⑪ 規則の尊重について考える。 ⑫ 勤労について考える。 ⑬ 生命の尊さについて考える。 ⑭ 節度ある生活について考える。 ⑮ 規則の尊重について考える。 ⑯ 自然愛護について考える。 ⑰ 公正、公平、社会主義について考える。
2 学期	⑱ 教えて！なんでもそうだん室 ⑲ かしたつもり×もらったつもり ⑳ ーりん車にのれた ㉑ 三つの国 ㉒ たまちゃん、大すき ㉓ 耳の聞こえないお母さんへ ㉔ 六べえとちよ ㉕ 百羽のツル ㉖ よわむし太郎 ㉗ やさしい人大さくせん ㉘ じゃがいもの歌 ㉙ なかよしだから ㉚ ぼくのおばあちゃん ㉛ しあわせの王子 ㉜ そびえ立つ、伊予松山城 ㉝ おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね ㉞ 大通りのサクラなみ木 ㉟ あんぱんの日	⑱ 勤労、公共の精神について考える。 ⑲ 相互理解について考える。 ⑲ 努力と強い意志について考える。 ㉑ 国際理解について考える。 ㉒ 友情、信頼について考える。 ㉓ 家族愛について考える。 ㉔ 親切、思いやりについて考える。 ㉕ 規則の尊重について考える。 ㉖ 善悪の判断について考える。 ㉗ 親切・思いやりについて考える。 ㉘ 個性の伸長について考える。 ㉙ 友情、信頼について考える。 ㉚ 家族愛について考える。 ㉛ 感動、畏敬の念について考える。 ㉜ 伝統と文化についての尊重、国や郷土を愛する態度について考える。 ㉝ 受け継がれる命について考える。 ㉞ 感謝について考える。 ㉟ 希望と勇氣、努力と強い意志について考える。

身に付けさせたい力

道徳科を要とする道徳教育を通して期待される具体的な姿

- ・自分のことは自分で行い、よく考えて行動することができる。
- ・正しいと判断したことは、勇氣をもって行うことができる。
- ・相手のことを思いやり、すすんで親切にしようとしている。
- ・生命の尊さを知り、大切にしようとしている。
- ・約束やきまりを守ろうとしている。
- ・自らを振り返って成長を実感しようとしている。
- ・これからの課題や目標を見付けようとしている。

家庭へのお願い

○「特別の教科 道徳」では、学校の教育活動を通じて行う全教育課程の基礎となる「よりよく生きる力」を育てていきます。成長を見守り、努力を認めたり、励ましたりすることによって、子供が自らの成長を実感し、さらに意欲的に取り組もうとする気持ちをもてるような声掛けをしてください。